

組合事務所に新メンバーが加わりました！

組合事務所に電話して「おおっ！ソフトな女性の声が！」と驚かれた方もすでにいるかもしませんね。9月から、新人職員の砂長谷百恵（すなはせ・ももえ）さんが働いています。「買い物、テレビ映画鑑賞、スキー、食べることが趣味」という外出好きの行動派ママです。「お肉もデザートも大好きで、体形は大きく成長し続けてい

る」そうですが、差し入れはいつでも歓迎です。事務所スタッフ全員、お菓子で順調に成長し続けています。「1日でも早く！何か一つでも！組合員さんのお役に立てるように！」と、ノートに仕事内容をメモしながら頑張っています。

声を一度聞きたいと思われたら、組合事務所にお電話を！残念ながら男性の中本さんが電話口に出たら、再チャレンジしましょう。

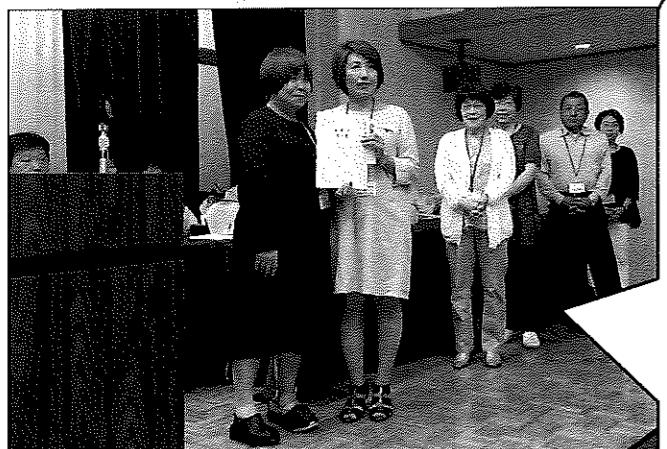


組合員ら26人が参加
嶺北分会は9月22日、越前市商工会議所で第12回交通安全講習会を開き、組合員ら26人が参加しました。西弘明分会委員長の挨拶で始まり、講師の越前警察署の大家学交通課長がクイズで「交差点での優先はどちらか？」などを説明し、盛り上りました。質疑応答では、今話題のおり運転について、質問が出ました。



参加者から「車間距離が何メートルであり運転になるのか？」などの疑問が出されました。

組合員ら26人が参加 嶺北分会が第12回交通安全講習会開催！



表彰状を手渡される久保浩美書記長

交通安全推進団体の証

オレンジプレートを掲げて仕事をしよう

オレンジプレートが労災保険加入者の証明になっています。仕事中は必ず掲示しましょう。



福井県越前市 上田 武司さん（70歳）
令和1年9月2日、病気のためご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

訃報

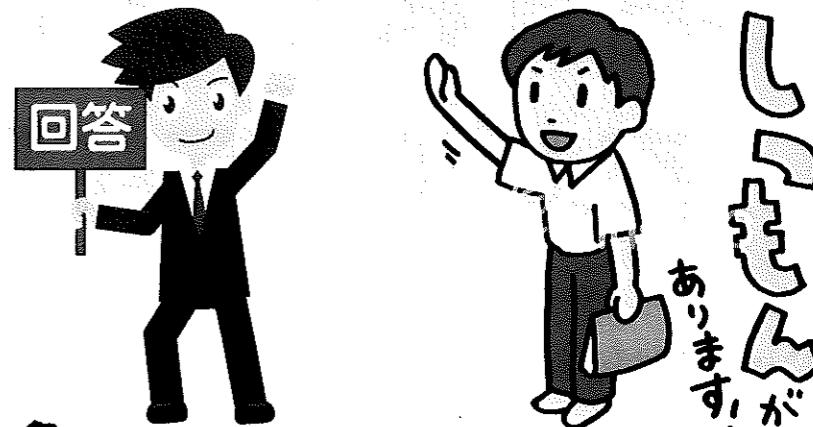
お知らせ
10月から消費税率が引き上げられることに伴い、毎月の組合費などの振替手数料が変更になります。
改正後 110円
改正前 108円
不明な点は、組合事務所までお問い合わせください。
以上

これからはみんなに消費税が影響してきます！

インボイス制度

Q&A

Q：下請業者が仕事をくれなくなったら、困るんだけど、どうしたらいい？
A：売り上げが1000万円以下でも、税務署に申請して、課税事業者になれば、インボイス付の適格請求書を発行できる。そうなれば、下請業者が損はなくなる。仕事から排除される可能性は低くなるよ。そうやって課税事業者



あります！

Q：下請業者は免税事業者とうとしているの？

A：今回のインボイス制度は、免税事業者が得ていた益税の排除が目的の一つと言われる。免税事業者は、取引先から消費税をもらつても、今まで納付する必要がなかった。これは納付する必要がないんだ。

Q：なぜ、そんな制度を導入しようとしているの？

A：今回の制度導入は、免税事業者が得ていた益税だ。今回制度導入は、まさに、1000万円以下の免税事業者がターゲットといえるかもしれないね。

免税事業者を課税事業者に誘導する狙い

に誘導するのが国税庁の狙いなんだ。

Q：売り上げが1000万円以下でも、消費税を納付することになるの？
A：その通り。確定申告の時期に、所得税と消費税の2つの申告をしなくちゃいけないよ。つまり、免税事業者に認められていた益税を今後は納めないといけないということだね。

建交労第21回全国定期大会が開催されました！

8月31～9月2日の3日間の日程で、機部ガーデン（群馬）で開かれ、久保浩美書記長と中本誠治書記次長が代議員として参加してきました。今回、建交労結成20周年記念パーティーが催され、バンド演奏などもあり、大会参加者で盛り上りました。毎年実施されている機関紙コンクールでは、北陸ダンプ支部の機関紙「ダンプ・土木建設の仲間」が2年連続で努力賞を獲得しました。

2022年12月までに課税事業者になるかどうか判断

Q：具体的には、何をすればいいの？

A：制度の開始は、2023年（令和5年）10月からだけど、2022年（令和4年）12月までに、免税事業者のままで行くか、課税事業者になら、課税事業者を選択するか決める必要がある。

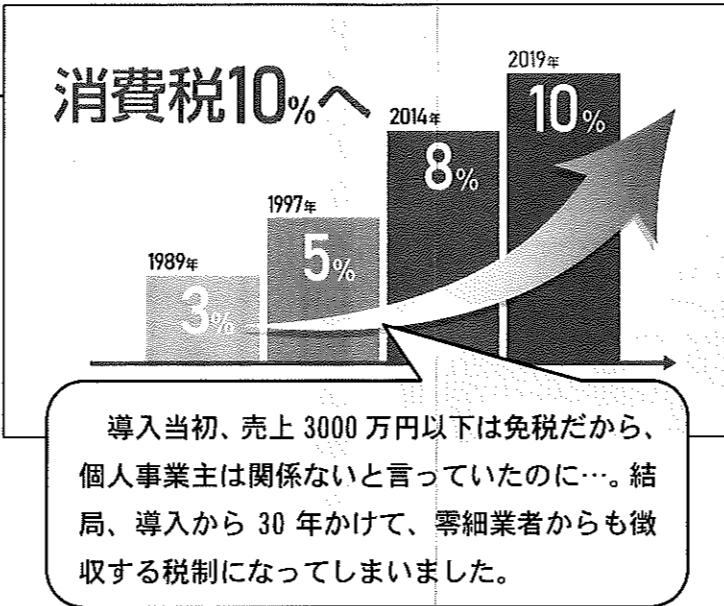
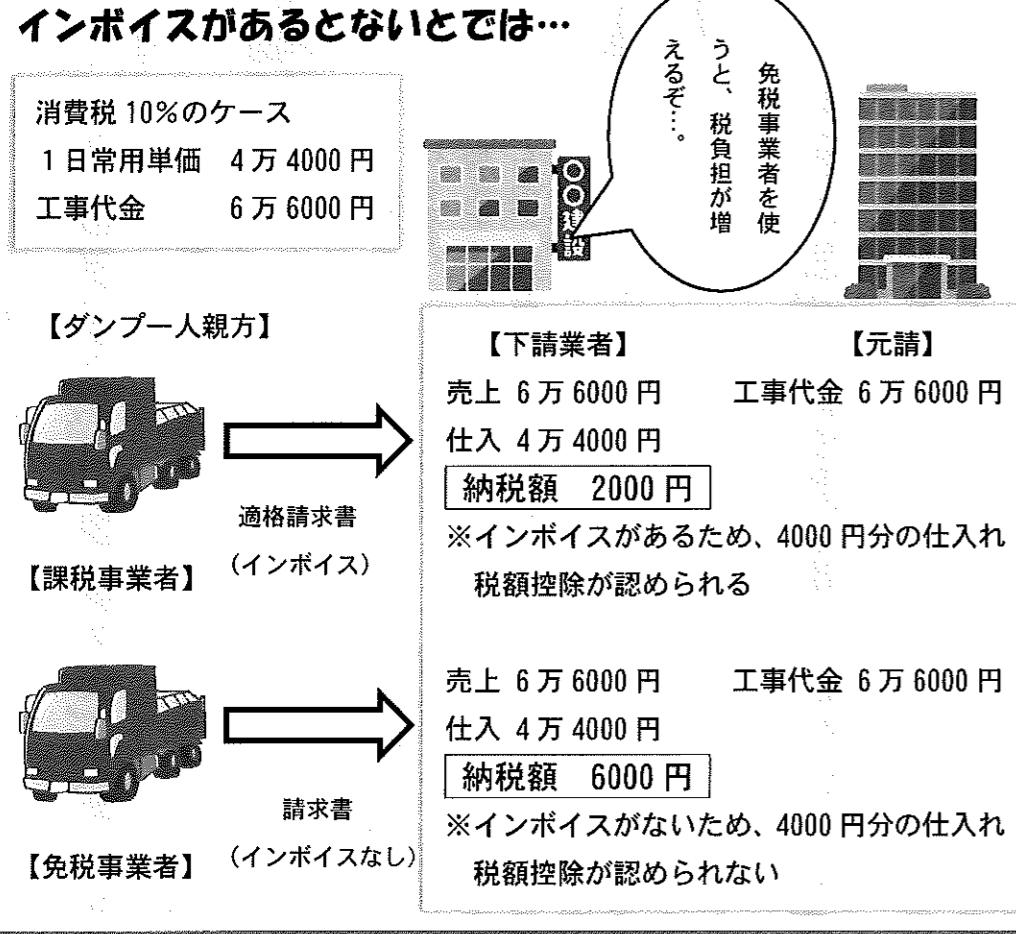
Q：2022年12月を過ぎるとどうなる？
A：2023年に入ってしまって、途中から課税事業者に変わることはできないんだ。だから、制度開始時に課税事業者になれないことになる。

2024年からは課税事業者になることはできるけど、自分の取引の意向をしっかり聞いておくことが重要だよ。

Q：2022年12月を過ぎるとどうなる？
A：2023年に入ってしまって、途中から課税事業者に変わることはできないんだ。だから、制度開始時に課税事業者になれないことになる。

消費税インボイス制度について学習を始めよう！

売上1000万以下の免税事業者に大きな影響が出る可能性大！！



まずは、どんな制度なのかということですが、正確には「適格請求書等保存方式」といいます。

適格請求書（インボイス）とは、税務署が付与した課税事業者の登録番号が記載された請求書のことです。

課税事業者（売上1000万円以上）のダンプ一人親方に仕事を出した下請け業者は、このインボイスがあれば、消費税を申告する際に仕入れ税額控除が認められます。逆に、免税事業者のダンプ一人親方からもらった請求書は、インボイスではないため、税額控除ができません。税額控除ができないとは、どういことなのか、下の記事と左の囲み記事で説明します。

消費税率が10月から10%に引き上げられますが、今回、個人事業主にとつてもう一つ、重大な影響が考えられる消費税改定が行われます。それが、4年後の2023年（令和5年）10月から導入される「インボイス制度」です。インボイス制度？ 何それ？ つて感じですが、この制度導入によって、売上1000万円以下の免税事業者に大きな影響が出る可能性が大なのです。どういうことなのか、みんなで学習していきましょう。

免税事業者は排除対象に？

左の囲み記事をご覧ください。

例えば、下請業者が1日常用4万4000円でダンプを使用し、その工事代金として元請に6万6000円を請求したとします。下請業者は、インボイスの請求書を発行できる課税事業者のダンプを使えば、税額控除が認められ、消費税の納税額は2000円となります。一方で、免税事業者のダンプを使用した場合、インボイスがないため、納税額は6000円となってしまいます。

下請け業者は、免税事業者を使うと納税負担が増えるため、免税事業者を取引先から排除する可能性があります。

免税事業者の対策は？

排除されないためには、売上が1000万円以下でも、課税事業者になつて、インボイスを発行するしかありません。しかし、そうなると、今後は消費税を納税する必要が生まれ、今まで認められていた益税がなくなります。同じ売上なら、実質的に所得減になるという問題が生じます。

組合員さんの投稿募集！

おいしいお店、穴場の観光地、家族の想い出、うれしかったこと、腹が立ったこと、組合ニュースの感想など、なんでも募集しています。メールで投稿してください。お店紹介や想い出などは、スマホなどで撮った写真に、お名前（匿名希望もあります）、簡単なコメントや日時、場所などを付けて送ってください。

10月20日（日）までに、下記のメールアドレスまで。皆さんの投稿をお待ちしています！

hokuriku-d@forest.ocn.ne.jp

全労連・全日本建設交運一般労働組合
石川県本部 北陸ダンプ支部
金沢市木越町字七七一
(076)257-4886
FAX (076)257-4886
(No.286 2019.9.25発行)

1人ひとりのためには みんなは一人ではありません
タクシード・土木建設の仲間

組合員現勢 255人！

組合員数を再集計したところ、組合員数の現勢が8月末現在で255人であることが判明しました。今後、8月末の数字を起点に、増減をお伝えします。まずは、260人の突破をめざしましょう！

